

オーストラリア・ビクトリア大学 帰国後アンケート 2019

回答者 6 名まとめ(英語コミュニケーション学科)

学習について

① 授業について (人数・国籍・内容で印象に残っていることなど)
クラス分けテストは、250 字のエッセイを書く。実践生 6 名は、GE クラスに 3 名、EAP1 クラスに 3 名に分かれた。 一クラス 10 名くらいの人数で、国籍は韓国、中国、サウジアラビア、ベトナムなど。半数は日本人。 理解度:よく理解できた 1 名、大体理解できた 5 名 授業数:適当な数 4 名、少なすぎた 2 名、15:30 に終わってしまい、授業の時間が有効的に使われていない レベルが上がるにつれて、難しくなり、ついていくのに必死だった 日本にいる時よりも自習時間が増えた
② 教科書について(全期間でどの程度の費用がかかりました?)
5,000 円前後
③ クラスメイトや先生との交流はどうでしたか?
留学生同士のイベントに参加し、仲良くなった。課題など一緒に取り組み、協力し合い勉強できた。
④ 留学先の行事について
定期的にイベントを開催しており、先生が情報を提供してくれる。(ゲームイベント、クッキング、季節イベント等) 学校主催以外のイベントも豊富にあり、参加者は年齢も国籍もまちまち、有料(10ドルくらい)。単発で参加できる。
⑤ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
最初に、クラス分けテストでエッセイを書かされるので、エッセイを書く練習をするとよい。 5 週ごとにテストがあり、上のクラスに上がることができる。

生活について

① ホームステイ先について
良かった点:家族のように接してくれた、美味しい食事だった、自由にしてくれた。 他にも留学生を受け入れており、楽しく過ごせた。 悪かった点:食事をたくさん勧めてくるので、断れなかった、 ネイティブではなかったので、ネイティブの家庭がよかった ホストの子どもとの接し方が難しかった。
② ハウスルールについて
シャワー、洗濯などの厳しい制限はなかった。 常にルールの確認をホストとする必要があると感じた。
③ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
必要なもの:カイロ、折りたたみ傘、ティッシュ、ウェットティッシュ 必要ないもの:なんでも売っているので、特に持ってくる必要なものは無い。 治安はよいが、ホームレスが多いので、夜は出歩かないこと。 よく声をかけられるが、簡単に連絡先の交換をしないこと。

お金の管理について

① 一ヶ月にどのくらいの生活費が必要でしたか？どのくらいの現金が必要でしたか？
食費:平均 14,000 円/月 昼食代、 生活費:平均 23,000 円/月 SIM 月額 3,000 円、交通費 10,000 円、服代、アウトレットで買った 外食が高い。
② クレジットカードや国際キャッシュカードなど、何を使用していましたか？
クレジットカードまたはデビットカードを利用した。 必要に応じて、クレジットカードから現金を数回おろした。 現金は、割り勘をするとき、市場で買い物をするときに必要。
③ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
クレジットカードはできれば 2 枚あると限度額の心配をせずに済むのでよい。

健康管理について

① 渡航中の健康管理や体調について気になったことがあれば記載してください
特になし
② 医療機関を利用しましたか？利用した場合は、その時の詳細を教えてください。
利用した:2 名 ・ものもらいで、皮膚科に行った。ビクトリア大学の留学生担当者が紹介してくれた病院に行き、保険でカバーできたため、無料 ・歯の詰め物が取れて歯医者に行った。4 万円くらいかかった
③ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
偏頭痛、風邪薬の薬など常備薬は持ってくるとうい

その他

携帯電話・Wifi 等について、どのようにしていたか教えてください。(現地で〇〇円で購入した、など)
日本で使用していた携帯電話を使用した。 現地で SIM カードを買った。30 \$ / 月
留学に持っていった方がよいもの、持っていく必要が無かったものについて教えてください。
国際学生証は一度も使わなかった。
留学先にやっておけばよかったこと、お勧めのことを教えてください
スカイプ英会話 海外の映画を見て、耳を慣らす、日常的なやり取りを覚える 話しかけのきっかけを作る Writing の練習をする
留学してみてどうだったかを教えてください。
勇気を出して、留学してよかった。 他国について情報を得ることができ、意見交換もでき、視野を広げることができた。 オーストラリアで親友ができた。 人間関係で壁があったが、英語力は上がった。 海外に滞在したことにより、日本では見られないこと、体験できないことを得られた。